

第2660地区 インターアクト新入生歓迎会

インターアクト委員会 委員長

松井隆雄 (大阪天王寺RC)



6月2日(日)、朝から曇り空で小雨がパラついていましたが、開会式が始まる頃には雨もあがり、予定した活動を終えることが出来ました。

大阪府羽衣青少年センターに大阪桐蔭・浪速・金光八尾・清風・相愛・四天王寺中学・高校のインターアクター76名、顧問の先生11名、ローターアクト3名、高島凱夫ガバナー・泉博朗ガバナーノミニーはじめ26名のロータリアン、事務局1名合計117名が集まり新入生歓迎会を行いました。

中野秀一委員長から新入生に対する歓迎の言葉とインターアクトの活動内容等についての説明があり、高島ガバナーから青少年の健全な育成にインターアクトクラブの果たす役割の重要性と期待を込めた激励の言葉が贈られました。

まず最初にインターアクター達はセンターのスタッフ(職員)から焼板造りの手ほどきを受けました。竈に薪の入れ方、火の付け方、板の焼き方、板の洗い方等懇切丁寧に指導を受けて作業に取りかかりました。インターアクター達は薪に火を付けたり、たわしで焼いた板を水で洗うなど、初めての体験に戸惑いながらも、側にいたロータリアンの手助けを受けながら一生懸命取り組んでいました。きれいな服が汚れ、顧問の先生に汚れを取って貰っている姿も見受けられました。

焼板は乾かして後で絵付けの作業を残し、昼食のバーベキューの準備にかかりました。センターで用意された肉や野菜(キャベツ、人参、タマネギ)を炭火で網で焼き、それぞれグループごとに団欒しながら食していました。ロータリアンが日ごろの実力を発揮し、焼奉行をしているグループもあり、一方大食漢あり、食傷気味の生徒もいてバラエティーに富んだ楽しい食事会でした。

食事の後片付け後、焼板に絵付けの作業に取りかかりインターアクター達は思い思いの絵やら文字を描いていました。「インターアクト」と書かれた焼板が多く見

られました。

その後、公園内をグループごとに分かれ約50分間のウォークラリーを行いました。このころになると新入生も含め学校の枠を超え、和気藹々とインターアクトの仲間の輪が拡がり繋がっていきました。新入生歓迎会の目的が達成できた思いがしました。これを機にインターアクトクラブの奉仕活動が活性化されていくことを期待しました。

若いインターアクター達は元気が有り余っていましたが、ロータリアンには若干顔に疲労のいろが出てきていました。閉会式では泉ガバナーノミニーの問いかけに全員「楽しかった」と声をそろえて答えていました。

次年度当番校(幹事校)の四天王寺高等学校・中学校に地区旗の引継ぎがなされ、新入生歓迎会は無事終了しました。

最後になりましたが、このような素晴らしい新入生歓迎会を企画、運営して頂きました浪速高等学校・中学校のインターアクトクラブの皆さま、顧問の先生、大阪帝塚山ロータリークラブの皆さま、そして裏方で支えてくださいましたガバナー事務所の栗正久美様に心から感謝申し上げます。

今後ともインターアクトクラブの活動に、ご理解とご支援をよろしくお願い致します。

